

記入例

別紙

平成24年度
千葉県人とねこの共生実行委員会
飼い主のいないねこ不妊去勢手術事業実施計画

事業実施主体名	〇〇一丁目自治会地域ねこ部会
代表者氏名	千葉 根子
所在地	××市▲▲町〇〇一丁目■番地
連絡先電話番号	04■■-■■-■■■■

1 事業の実施方針

(1) 事業の目的

野良ねこによる生活環境問題を解決するために、法律に沿った方法で野良ねこを減らす取組みを実践する。

(2) 取り組もうとする地域の概要

ア 地域名

〇〇一丁目

イ 町会・自治会等名称

〇〇一丁目自治会

ウ 地域の環境

住宅地

エ 飼い主のいないねこの匹数

(ア) 地域内ねこ匹数 オス5匹、メス7匹

(イ) 事業対象ねこ匹数 オス5匹、メス7匹

オ 取組みのきっかけ

遠くからの通いの人も含め、無責任に餌をやる人が多く、野良ねこが増え続け、糞被害をはじめ鳴き声や家屋への侵入被害などが多発している。自身もねこが好きでないことも有り、市内で開催された「地域ねこ対策セミナー」に参加し、法律に沿った方法で野良ねこを減らすことができることを知り、セミナー主催者のNPOに相談した。

カ 期待される効果

野良ねこの減少

2 事業実施主体の概要

(1) 構成員数及び地域住民の参加状況

3名（うち地域住民は2名）

(2) 設立年月日

平成24年6月30日

(3) 設立目的

野良ねこの減少

(4) 主たる活動の内容

地域ねこ活動

3 事業の概要

(1) 事業の内容

ア 実施期間

平成24年10月1日～平成25年1月31日

イ 飼いねことの選別方法

地域ねこリストを作成し、飼い主がいる様子が無い事を確認する。

地域の餌やりの人達から聴き取り調査を実施する。

自治会名で回覧し、飼いねこを外に出さないよう周知する。

ウ 地域の理解を得るための周知活動の方法

自治会役員とともに全戸訪問する。

月1回のペースで自治会名で回覧し、活動内容を報告する。

貼り紙等を掲示し、活動内容を周知する。

エ 地域環境の保全に資する活動

地域の餌やりの人達にはルール（定時・回収・後始末）に従ったやり方に協力していただく一方、「無責任な餌やり禁止」の貼り紙をして、マナー違反の餌やりの人達には説明の上、やめていただくなどの対処をしている。

ねこ用トイレを設置し、排泄物は速やかに片づけ、トイレ以外の場所に排泄を確認した際は、速やかに処理、清掃している。

オ 地域への捨てねこ防止対策

捨てねこ防止プレートを掲示する。

(2) ねこ問題住民会議等の開催実績・予定

会議名称	開催時期	議題等	備考
自治会定例役員会議	平成24年7月1日	地域ねこ活動の説明	参加者：自治会役員
ねこ問題住民会議	平成24年7月20日	地域ねこ対策について	参加者：自治会長、支援ボランティア、動物愛護推進員、保健所職員
ねこ問題住民会議	平成24年9月1日	ルールづくり	同上
ねこ問題住民会議	平成25年12月	状況報告	同上
ねこ問題住民会議	平成25年3月	状況報告	同上

(3) 事業の年間計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						手術 実施 4匹	手術 実施 4匹	手術 実施 2匹	手術 実施 2匹		

4 添付資料

- (1) 事業実施主体となる組織の規約
- (2) 構成員の名簿（氏名・住所・電話番号）
- (3) 地域を表す資料（地図・略図・写真等）
- (4) 対象ねこリスト（性別・毛色・体格・特徴等）※可能な限り写真を添付すること。
- (5) 関係者（町会長又は自治会長、ボランティア及び行政職員）の了解を得たことを証明する書類

事業実施主体となる組織の規約（例）

〇〇〇会 規約

（名称）

第1条 本会は、〇〇〇会とする。

（目的）

第2条 本会は・・・・・・・・・・を目的とする。

（事業）

第3条 本会は前条の目的を達成するために、・・・・事業を行う。

（組織）

第4条 本会は〇名をもって組織する。

（役員）

第5条 本会に会長・事務局長・会計を各1名置く。

（経費）

第6条 本会に要する経費は、〇〇〇（例：寄付金、会費）をもってあてる。

（会計年度）

第7条 本会の会計は〇月〇日に始まり、〇月〇日に終わる。

（その他）

第8条 この会則に定めるもののほか必要な事項は、会長が会に諮って定める。

附則

この会則は平成〇年〇月〇日から施行する。

関係者の了解を得たことを証明する書類（例）

証明書

団体名 ○○○会

代表者氏名 ○○ ○○

貴団体が、千葉県飼い主のいないねこ不妊去勢手術事業実施計画の承認申請をすることについて了解したことを証明します。

平成○○年○月○日

（町会・自治会名） ○○○○

（町会長名／自治会長名） ○○ ○○ 印

（ボランティア組織名） ○○○○

（担当者名） ○○ ○○ 印

（保健所名・市町村名） ○○○○

（担当者名） ○○ ○○ 印

記入例

別紙

平成24年度
千葉県人とねこの共生実行委員会
飼い主のいないねこ不妊去勢手術事業実施計画

事業実施主体名	〇〇一丁目自治会地域ねこ部会
代表者氏名	千葉 根子
所在地	××市▲▲町〇〇一丁目■番地
連絡先電話番号	04■■-■■-■■■■

1 地域の環境

住宅地

2 ねこの匹数

- (1) 着手時（全匹未手術） オス 5匹、メス 7匹
- (2) 不妊去勢手術実施 オス 5匹、メス 7匹
- (3) 現在 オス 5匹、メス 7匹

3 取組みのきっかけ

遠くからの通いの人も含め、無責任に餌をやる人が多く、野良ねこが増え続け、糞被害をはじめ鳴き声や家屋への侵入被害などが多発していた。自身もねこが好きでないことも有り、市内で開催された「地域ねこ対策セミナー」に参加し、法律に沿った方法で野良ねこを減らすことができることを知り、セミナー主催者のNPOに相談。

4 活動内容

自治会会合で対策への協力を要請し、地域ねこ対策が掲載された市の広報や他啓発資料を自治会名で回覧し、千葉県飼い主のいないねこ不妊去勢手術事業への申請協力者を募った。動物愛護団体の捕獲協力もあり、数ヶ月の間に全匹の避妊去勢手術が完了。また、子ねこの里親探しも愛護団体を通じて行っている。地域の餌やりの人達にはルールに従ったやり方に協力していただく一方、「無責任な餌やり禁止」の貼り紙をして、マナー違反の餌やりの人達には説明の上、やめていただくなどの対処をしている。

5 現在の状況

数回の回覧や、それまでの捕獲活動などを見て、自分の近所で目に付いた時糞の片付けをしてくれる人達も現れるようになった。手術をしたことでねこがおとなしくなり鳴き声も減り、また、何よりも「増えていない」ので、苦情も無くなった。一方、まだまだ地域住民の意識に格差があり、協力者も少ないため、手術済みねこの管理費用や今後の手術費用の確保が課題とされている。

※ 本事業結果については、今後の飼い主のいないねこ対策事業の充実強化のため、「取組例」として他の地域において活用させていただきたいので、3・4・5については、このような表現をお願いします。